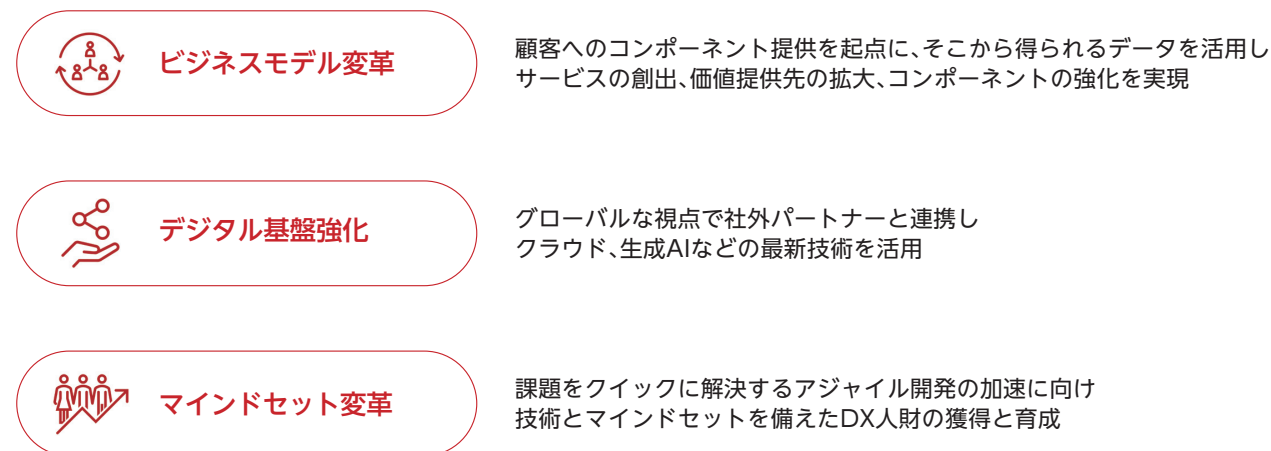


デジタルによる「イノベティブカンパニー」への変革 コンポーネントに加え、データを駆使した顧客中心のビジネスモデルへ

当社は「イノベティブカンパニー」への変革を掲げています。製品から得られるデータを活用してお客様や社会の課題を解決するソリューションを提供する、より付加価値の高いビジネスへと変革を進めています。変革を実現するために重要な3つのテーマをご紹介します。

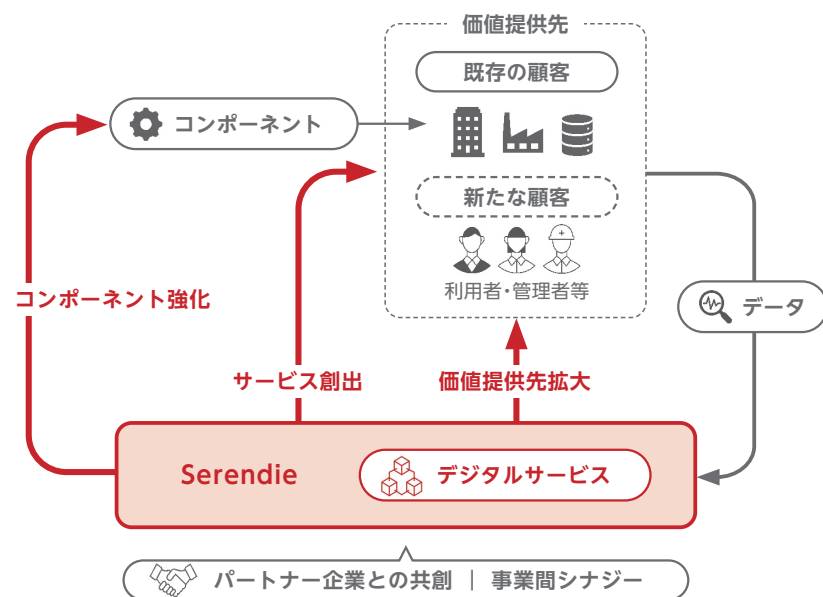
変革を実現するために重要な3つのテーマ



ビジネスモデル変革 | Serendieによるビジネスモデルの変革

コンポーネントを利用することで生まれるデータを起点にビジネスモデルの変革を推進

Serendie(セレンディ)は、データ活用を通じて事業横断型のサービスを創出するためのデジタル基盤です。「思いがけない発見」や「偶然がもたらす幸運」を意味するSerendipity(セレンディピティ)と、Digital Engineering(デジタルエンジニアリング)を掛け合わせて名付けられました。家庭から宇宙まで、あらゆる領域から集めたデータ。最先端の技術力とプロフェッショナルの創造力。それらを掛け合わせ、お客様やパートナーの皆さまとともに、アジャイルに、持続的に、新たな価値を生み出します。Serendieでは三菱電機の既存事業の知見・技術を活かしながら、領域を横断し、データ・DXソリューションと掛け合わせた新しいソリューションを生み出します。



サービス創出

データを分析し、課題解決に向けたサービスを新たに創出

価値提供先拡大

既存の顧客から、その先の利用者や管理者へ価値の提供先を拡大

コンポーネント強化

設計・製造の知見に現場の使用データを組み合わせ、コンポーネントをさらに強化

Serendie関連事業 **1.1兆円** (2030年度売上高)

デジタル基盤強化 | 共創空間「Serendie Street Yokohama」

横浜アイマークプレイス内に社外との共創エリアを新設し、事業DXの推進を加速



詳細はこちら

当社は、社内外や国内外の多様な人材・データ・技術が集うことで、これまでにない新たな価値を創出するための共創空間「Serendie Street Yokohama」を2025年1月にオープンしました。

新設した社外との共創エリアでは、社内外の人材・データ・技術を一堂に結集し、偶発的な出会いから生まれるひらめきを活かした新たな価値の創出に向けて、様々なコミュニティやプロジェクトが日々活動します。多様な知識や技術の組み合わせによる顧客やパートナーとの共創活動を通じて、未知なる価値を創出し、社会の課題解決を目指します。

今後の予定・将来展望としては、「Serendie Street Yokohama」を活用することで、多様な知識・技術を組み合わせたスクラム活動を加速し、新たな価値を提供するソリューションを創出していきます。また、「Serendie」を活用した価値共創プログラムのグローバル展開を見据え、事業DX推進を担う「Serendie Street Global」への拡大を図ります。



マインドセット変革 | DX人材拡充に向けた取組み

三菱電機「DXイノベーションアカデミー」が描く成長ストーリー



詳細はこちら



2025年4月、当社に「DXイノベーションアカデミー(以下、DIA)」という新たな学びの場が誕生しました。

DIAは、三菱電機グループのDX人材を体系的に育成するための機関です。当社が掲げるイノベティブカンパニーへの変革の実現においては、DXを支える人材をしっかりと育てていく必要があると考えています。2030年度までにグループ全体で2万人のDX人材確保を目指しており、その実現に向けた人材育成の要となる育成機関として、今年4月に設立しました。

技術やスキルの習得はもちろんですが、それ以上に重要なのはイノベティブでチャレンジングな考え方やマインドへの変化です。学んだことが事業に戻ったあとに広がっていく、そんな波及効果を期待しています。DIAがDXを通して、新たな“挑戦”の風土を醸成する場になればと考えています。

詳細はこちら

「Serendie」特設サイト <https://www.MitsubishiElectric.co.jp/serendie/>

